



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 東亜合成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長C00 （氏名）小淵 秀範
 問合せ先責任者（役職名）コーポレートコミュニケーション部長（氏名）堤 慎吾 TEL 03-3597-7215
 半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 2026年9月4日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 （証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	82,405	2.6	7,912	12.7	8,580	14.4	6,019	5.3
2025年12月期中間期	80,344	△1.5	7,018	△4.2	7,497	△14.4	5,715	△18.8

（注）包括利益 2026年12月期中間期 11,147百万円（156.7%） 2025年12月期中間期 4,343百万円（△66.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	56.56	—
2025年12月期中間期	51.76	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	296,711	220,995	74.1
2025年12月期	289,105	215,944	74.3

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 219,802百万円 2025年12月期 214,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	32.50	—	32.50	65.00
2026年12月期	—	36.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	36.00	72.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	170,000	4.7	15,500	9.3	16,300	8.2	11,800	△7.6

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	108,000,000株	2025年12月期	108,000,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	2,126,061株	2025年12月期	714,199株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	106,434,056株	2025年12月期中間期	110,427,948株

（注）期末自己株式数および期中平均株式数（中間期）の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 経営成績等の概況

（1）経営成績に関する説明

（ア）当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間（2026年1月1日から2026年6月30日まで）における世界経済は、中東情勢を巡る地政学リスクによる近年にない経済面でのショック、原油由来の経済の悪化および深刻化が続く中、AIの需要拡大とデータセンター向け投資の増加を背景に、関連産業を中心として底堅く推移しました。また、原油・ナフサ市況は、中東情勢の緊迫化を背景に不安定な状況が続き、中間期末にかけて供給不安が高まりました。

わが国経済においては、賃上げの広がりなどを背景に個人消費が緩やかに持ち直し、設備投資も底堅く推移しました。一方で、物価高の継続や中東情勢をはじめとする海外経済の不確実性などから、原油価格、ナフサ価格の動向には大きな懸念が継続しました。

このような状況下、当社グループは、注力分野における販売拡大、採算是正および生産効率化等に取り組んでまいりました。その結果、売上高は824億5百万円（前年同期比2.6%増収）、営業利益は79億1千2百万円（前年同期比12.7%増益）、経常利益は85億8千万円（前年同期比14.4%増益）、親会社株主に帰属する中間純利益は60億1千9百万円（前年同期比5.3%増益）となりました。

（イ）セグメント別の業績

①基幹化学品事業

電解製品は、コスト上昇に伴う製品価格の是正により、増収となりました。アクリルモノマーは、一部製品の販売終了に加え、中東情勢の影響による原料調達制約に伴い販売数量が減少したことから、減収となりました。工業用ガスは、販売数量が増加したことにより、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は333億5千2百万円（前年同期比7.8%減収）となりました。

営業利益は、アクリルモノマー製品の販売数量の減少および大型定期修理に伴う費用の増加により、35億円（前年同期比25.2%減益）となりました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、車載向け、医薬化粧品向けおよび半導体向けの販売数量が増加したことに加え、採算是正が寄与したことから、増収となりました。アクリルオリゴマーは、電子材料向けの販売数量の増加に加え、コスト上昇に伴う価格是正により、増収となりました。高分子凝集剤は、中東情勢の影響による原料調達制約に伴い販売数量が減少したものの、採算是正により、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は196億2千4百万円（前年同期比11.9%増収）となりました。

営業利益は、各サブセグメントの販売が堅調に推移したことにより、23億9千6百万円（前年同期比89.3%増益）となりました。

③接着材料事業

家庭用は、米国での販売価格の改定により、増収となりました。機能性接着剤は、車載向けおよびスマートフォン向けの販売数量が引き続き堅調に推移したことから、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は72億9千6百万円（前年同期比7.9%増収）となりました。

営業利益は、米国での販売促進に伴う広告宣伝費等の増加により、2億6百万円（前年同期比21.8%減益）となりました。

④高機能材料事業

高純度無機化学品は、半導体向け製品の需要が引き続き好調に推移し、販売数量が増加したことにより、増収となりました。無機機能材料は、無機抗菌剤の販売数量が減少し、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は57億2千7百万円（前年同期比14.2%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品の販売数量の増加により、9億3百万円（前年同期比96.9%増益）と大幅な増益となりました。

⑤樹脂加工製品事業

環境インフラシステムは、下水道関連製品等の販売数量が増加したことにより、増収となりました。ライフサポートは、入浴介護用品等の販売数量が減少したことにより、減収となりました。エコマテリアルは、東南アジア向け販売数量の減少により、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は152億8百万円（前年同期比10.7%増収）となりました。

営業利益は、環境インフラシステムにおける販売数量の増加およびエコマテリアルにおけるモビリティ関連製品の収益拡大により、18億4千9百万円（前年同期比57.8%増益）となりました。

⑥その他の事業

商社事業、輸送事業などにより構成されている当セグメントは、商社事業が増収となり、売上高は11億9千5百万円（前年同期比7.0%増収）となりました。

営業利益は、ほぼ前年同期並みの3億2百万円（前年同期比4.3%増益）となりました。

なお、前第4四半期連結会計期間から「その他」セグメントの区分変更を行っています。詳細は（セグメント情報等）をご参照ください。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

資産合計は、「現金及び預金」や「有価証券」が減少したものの、株価上昇により「投資有価証券」が増加したため、前連結会計年度末に比べ76億6百万円、2.6%増加し、2,967億1千1百万円となりました。

負債合計は、「買掛金」が増加したため、前連結会計年度末に比べ25億5千5百万円、3.5%増加し、757億1千6百万円となりました。

純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前連結会計年度末に比べ50億5千万円、2.3%増加し、2,209億9千5百万円となり、自己資本比率は74.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権および棚卸資産が増加したため、前中間連結会計期間に比べ収入が46億6千4百万円減少し、120億1千3百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が減少したため、前中間連結会計期間に比べ支出が30億2千1百万円減少し、142億9千2百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出が減少したため、前中間連結会計期間に比べ支出が20億6百万円減少し、67億6百万円の支出となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は198億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ89億3百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当中間連結会計期間の業績は、半導体関連製品の販売が好調に推移したことに加え、ポリマー・オリゴマー事業および樹脂加工製品事業を中心に販売数量が増加したことや、ポリマー・オリゴマー事業の収益性向上が寄与したことなどから、当初想定を上回って推移しました。

今後につきましては、中東情勢をはじめとする地政学リスクや原油・ナフサ市況、為替動向など先行き不透明な事業環境が継続するものと予想しておりますが、当中間連結会計期間の実績および最近の事業環境を踏まえ、2026年12月期の通期連結業績予想を修正いたしました。

また、業績予想の修正を踏まえ、剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2026年12月期通期業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

<2026年12月期連結業績予想>

通期（2026年1月1日～2026年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A） （2026年2月12日発表）	167,000	14,500	15,100	11,500	108円56銭
今回修正予想（B）	170,000	15,500	16,300	11,800	111円22銭
増減額（B-A）	3,000	1,000	1,200	300	—
増減率（%）	1.8%	6.9%	7.9%	2.6%	—
（ご参考）前期実績 （2025年12月期）	162,312	14,180	15,067	12,766	117円02銭

期末配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 （2026年2月12日発表）	35円00銭	35円00銭	70円00銭
今回修正予想		36円00銭	72円00銭
当期実績	36円00銭		
（ご参考）前期実績 （2025年12月期）	32円50銭	32円50銭	65円00銭

（注）予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断した数値であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,518	20,017
受取手形及び売掛金	38,003	38,543
電子記録債権	11,554	12,026
有価証券	7,000	2,000
棚卸資産	25,469	28,462
その他	4,061	6,428
貸倒引当金	△51	△53
流動資産合計	110,556	107,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,939	40,586
機械装置及び運搬具(純額)	24,259	26,194
土地	33,215	32,045
その他(純額)	30,635	33,776
有形固定資産合計	129,050	132,602
無形固定資産	4,723	4,689
投資その他の資産		
投資有価証券	36,029	42,423
退職給付に係る資産	6,013	6,050
その他	2,773	3,563
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	44,775	51,995
固定資産合計	178,548	189,287
資産合計	289,105	296,711

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,513	19,608
短期借入金	6,865	6,865
未払法人税等	2,543	2,156
賞与引当金	4	4
その他	21,451	19,175
流動負債合計	47,376	47,810
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,770	3,700
退職給付に係る負債	131	136
株式給付引当金	438	488
その他	11,443	13,580
固定負債合計	25,783	27,905
負債合計	73,160	75,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	14,166	14,197
利益剰余金	156,396	158,917
自己株式	△957	△3,545
株主資本合計	190,491	190,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,635	21,270
為替換算調整勘定	5,933	6,412
退職給付に係る調整累計額	1,747	1,664
その他の包括利益累計額合計	24,316	29,346
非支配株主持分	1,136	1,192
純資産合計	215,944	220,995
負債純資産合計	289,105	296,711

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	80,344	82,405
売上原価	57,369	57,080
売上総利益	22,974	25,324
販売費及び一般管理費	15,955	17,412
営業利益	7,018	7,912
営業外収益		
受取利息	117	101
受取配当金	708	825
持分法による投資利益	90	20
為替差益	—	98
固定資産賃貸料	9	7
その他	82	55
営業外収益合計	1,009	1,108
営業外費用		
支払利息	83	172
為替差損	318	—
投資事業組合運用損	18	106
遊休設備費	3	75
環境整備費	80	54
その他	25	32
営業外費用合計	530	440
経常利益	7,497	8,580
特別利益		
固定資産売却益	—	879
補助金収入	46	341
投資有価証券売却益	1,187	277
特別利益合計	1,234	1,497
特別損失		
固定資産処分損	581	912
災害による損失	50	29
投資有価証券評価損	182	464
圧縮未決算特別勘定繰入額	40	336
特別損失合計	855	1,742
税金等調整前中間純利益	7,876	8,335
法人税等	2,120	2,235
中間純利益	5,756	6,099
非支配株主に帰属する中間純利益	40	79
親会社株主に帰属する中間純利益	5,715	6,019

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	5,756	6,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△483	4,639
為替換算調整勘定	△854	491
退職給付に係る調整額	△75	△82
その他の包括利益合計	△1,413	5,048
中間包括利益	4,343	11,147
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,288	11,050
非支配株主に係る中間包括利益	54	97

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,876	8,335
減価償却費	5,774	6,093
貸倒引当金の増減額(△は減少)	33	1
製品回収引当金の増減額(△は減少)	△15	—
株式給付引当金の増減額(△は減少)	82	50
その他の引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△127	△157
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7	4
受取利息及び受取配当金	△826	△927
支払利息	83	172
為替差損益(△は益)	269	35
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,187	△277
投資有価証券評価損益(△は益)	182	464
固定資産処分損益(△は益)	581	912
固定資産売却損益(△は益)	—	△879
持分法による投資損益(△は益)	△90	△20
補助金収入	△46	△341
圧縮未決算特別勘定繰入額	40	336
売上債権の増減額(△は増加)	4,108	△918
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,073	△2,900
仕入債務の増減額(△は減少)	△959	3,026
その他	3,716	322
小計	18,429	13,333
利息及び配当金の受取額	799	915
利息の支払額	△86	△182
補助金の受取額	46	341
法人税等の支払額	△2,511	△2,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,678	12,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	190	685
投資有価証券の取得による支出	△386	△182
投資有価証券の売却による収入	1,618	325
有形固定資産の取得による支出	△17,803	△14,286
有形固定資産の売却による収入	—	2,069
その他	△932	△2,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,313	△14,292
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	75	—
長期借入れによる収入	3,700	—
長期借入金の返済による支出	△3,791	△70
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△4,063	△2,708
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△1,137	△293
リース債務の返済による支出	△90	△98
配当金の支払額	△3,366	△3,494
非支配株主への配当金の支払額	△38	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,712	△6,706

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△551	81
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,898	△8,903
現金及び現金同等物の期首残高	40,433	28,763
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,534	19,860

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年2月12日開催の取締役会決議に基づく自己株式1,497,300株の取得などを行いました。この結果、当中間連結会計期間にて自己株式が2,587百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が3,545百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	36,180	17,538	6,761	5,013	13,733	79,226	1,117	80,344	—	80,344
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,026	691	18	225	336	3,296	819	4,116	△4,116	—
計	38,206	18,229	6,779	5,239	14,069	82,523	1,937	84,460	△4,116	80,344
セグメント利益 または損失 (△)	4,681	1,266	263	459	1,172	7,842	290	8,132	△1,114	7,018

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業、輸送事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去△1百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,112百万円が含まれております。全社費用は、主に特定の報告セグメントに帰属させて管理していない全社共通研究開発費等であります。

3 セグメント利益または損失は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	33,352	19,624	7,296	5,727	15,208	81,209	1,195	82,405	—	82,405
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,956	835	39	108	500	3,440	829	4,269	△4,269	—
計	35,309	20,459	7,335	5,836	15,709	84,650	2,024	86,675	△4,269	82,405
セグメント利益 または損失 (△)	3,500	2,396	206	903	1,849	8,856	302	9,159	△1,247	7,912

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業、輸送事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去3百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,250百万円が含まれております。全社費用は、主に特定の報告セグメントに帰属させて管理していない全社共通研究開発費等であります。

3 セグメント利益または損失は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

（「その他」セグメントの区分変更）

前第4四半期連結会計期間から経営管理区分の見直しを行い、従来「その他」事業に含めていた新規製品の研究開発事業にかかる費用を全社費用としてセグメント利益または損失の調整額に計上しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。